（金融商品関係）

１　金融商品の状況に関する事項

当機構は、資金運用については流動性の高い金融資産により運用しております。

未収金は、そのほとんどが地方公共団体等の公的機関に対する債権であり、信用リスクは低いものと判断しております。保証金は、事務所等の賃貸借契約における保証金であり、賃貸人の信用リスクがあります。

未払金は、そのほとんどが３箇月以内の支払期日であります。リース債務は、設備投資に係る資金調達であります。

２　金融商品の時価等に関する事項

令和８年３月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：円）

	貸借対照表計上額	時　　価	差　　額
⑴　有価証券及び投資有価証券			
満期保有目的のもの	200,000,000	192,950,000	△ 7,050,000
⑵　保証金	697,467,782	164,204,212	△ 533,263,570
資　　産　　計	897,467,782	357,154,212	△ 540,313,570
⑴　リース債務（※１）	2,269,711,744	2,159,643,595	△ 110,068,149
負　　債　　計	2,269,711,744	2,159,643,595	△ 110,068,149

※１　リース債務については、１年以内の返済予定額を含んでおります。

３　金融商品の時価のレベルごとの内訳などに関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の３つのレベルに分類しております。

レベル１の時価：同一の資産または負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル２の時価：レベル１のインプット以外の直接または間接的な観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル３の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

⑴　時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

該当なし

⑵　時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債

（単位：円）

区　　分	時　　価		
	レベル１	レベル２	レベル３
⑴　有価証券及び投資有価証券			
満期保有目的のもの	—	192,950,000	—
⑵　保証金	—	164,204,212	—
資　　産　　計	—	357,154,212	—
⑴　リース債務（※１）	—	2,159,643,595	—
負　　債　　計	—	2,159,643,595	—

（注１）　時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

資　産

⑴　有価証券及び投資有価証券

当機構が保有している地方債は市場での取引頻度が低く、活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル２の時価に分類しております。

⑵　保証金

保証金のうち、契約終了までの期間が１年を超えるものについては、リスクフリーレートで割り引く割引現在価値法により算定しており、レベル２の時価に分類しております。

負　債

⑴　リース債務

元利金の合計額を、新規に同様のリース取引を行った場合に想定される利率で割り引く割引現在価値法により算定しており、レベル２の時価に分類しております。

（注２）　時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債のうちレベル３の時価に関する情報

該当なし

４　金銭債権の決算日後の償還予定額

（単位：円）

	１年以内	１年超２年以内	２年超３年以内	３年超４年以内
現金及び預金	649,221,244,902			
未収金	52,149,468,048			
有価証券及び投資有価証券				
満期保有目的のもの				200,000,000
合　　計	701,370,712,950			200,000,000

５　リース債務の決算日後の返済予定額

（単位：円）

	１年以内	１年超２年以内	２年超３年以内	３年超４年以内	４年超５年以内
リース債務	1,052,903,876	739,342,389	414,193,140	45,978,345	17,293,994